

ACTION



アクション REAR VIEW



リアビュー

RMS-108 MARASAI (UNICORN Ver.) NEO ZEON ATTACK USE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RMS-108
 TOTAL HEIGHT : 17.5m
 WEIGHT : 33.1t
 GENERATOR OUTPUT : 1790kw
 MATERIAL : GUNDALUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 FEDAYEEN RIFLE
 UMIHEBI
 BEAM RIFLE
 BEAM SABER
 60mm VULCAN
 SHILED

機動戦士
ガンダムユニコーン
 MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN



WEAPON



ウェポン

DETAIL



ディテール

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●脚部等：



機体内部色(60%)
+ ホワイト(40%)

●関節等：



グレー(80%)
+ ブラック(20%)

●胸部等：



カーキグリーン(80%)
+ インディブルー(20%)

●バーニア内部等：



モンザレッド(100%)

●動力パイプ等：



オレンジイエロー(40%)
+ モンザレッド(40%)
+ ホワイト(20%)
+ ブラック(ごく少量)

●フェダーイン・ライフル等：



パープル(40%)
+ ブルーグレー(30%)
+ ミディウムブルー(20%)
+ インディブルー(10%)

1/144 SCALE

HG

UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO

Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
 Fees accrued by your communication and connection to the internet are
 under customer's responsibility.
 ホームページにアクセスする際の各種費用はお客様のご負担となります。

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。

0175777



⚠ 注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

切取る場所	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側と同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動きます

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂:PS)

B1パーツ (スチロール樹脂:PS)

B2パーツ (スチロール樹脂:PS)

Cパーツ (スチロール樹脂:PS)

Fパーツ (スチロール樹脂:PS)

<PC-123プラス>
(ポリエチレン:PE)

●シール.....1
●リード線.....1
(塩化ビニル樹脂:PVC)

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

1

PC6, A8, C16, A7, PC6, B22, PC7, B21, C15

2

※シールは組み立てる前に貼ります。

(シール) A13 (先に貼るシール), B12・B13, A14, B14, A21 (向きに注意), A20 (シール), C18, C17 (向きに注意して反対側に取り付ける)

3

A5・A6, A4 (向きに注意), A10 (向きに注意)

4

B18, B16, A29, PCE, B13, PCN, B16, PCH (向きに注意), C2

5

A31 (向きに注意), A27, C2

6

C22, C25, C23, C24, C19, C20, C21, PCM, A2, C21

※イラストの様に指で押さえながら取り付けます。

7

6, 4, B11 (向きに注意), 5

8

PC6, C6, PC6, C6, C7 (向きに注意), C7, B16, A29, B17, PCE, B11 (向きに注意), B16, PCN, B14, A27, A31 (向きに注意), C2, A24, B10, A16

※肩アーマーは向きに注意して取り付けます。

9

(後に組む)
C14
C11
C13
B136
C10
! (向きに注意)

A22
A23
! (向きに注意)

A23
! (シール)

10

7
で作った右腕
9
で作ったバックパック
1
で作ったボディ
8
で作った左腕
B17
A3
B18
A17
B19
A25
A26
B19
! (向きに注意)

A15
B17
A26
! (向きに注意)

A26
! (向きに注意)

A26
! (向きに注意)

3
で作った
ビーム・ライフル

11

PCN
A12
PCO
PCN
! (向きに注意)

C9
C3
C4
C8
! (向きに注意)

C9
C3
C4
C8
! (向きに注意)

※C3を取り付ける位置に注意します。 ※C4を取り付ける位置に注意します。

12

×2
2個作る

PCO
C26

B120
C27

13

PCA
B230
A10
B230
B230

14

(後に組む)
B235
B12
B11
B23
B19
B19
!

12

×2
2個作る

PCO
C26

B120
C27

13

PCA
B230
A10
B230
B230

14

(後に組む)
B235
B12
B11
B23
B19
B19
!

15

B225
PCB
B224
PC1
A28
A32
! (向きに注意)

B225
PCB
B224
PC1
A28
A32
! (向きに注意)

B225
PCB
B224
PC1
A28
A32
! (向きに注意)

16

PCA
B231
B233
A10
B229
B223

17

(後に組む)
B11
B234
B12
B228
!

18

B227
PCB
B226
PC1
A32
A28
! (向きに注意)

B227
PCB
B226
PC1
A32
A28
! (向きに注意)

B227
PCB
B226
PC1
A32
A28
! (向きに注意)

19

C12
C12
C12

C12
C12
C12

C12
C12
C12

11
で作った腰部
15
で作った右脚
18
で作った左脚

20

10
19

※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)股間止め用
(6mm) BA4-A0

10
19

21

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

21

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

F1
F4
PCM
F7
F6
F6
! (切り取る)

〈裏から見た図〉

F2
F3

RMS-108 MARASAI [UNICORN Ver.]

U.C.0087年に勃発した、地球連邦軍の軍閥である「エウゴ」と「ティターンズ」による内乱を発端とするグリプス戦役。《マラサイ》はその渦中において、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社製のRMS-106《ハイザック》が有した高い生産性と操作性を継承しつつ、さらなる高性能機体として開発が進められていた量産型モビルスーツである。本機は設計当初から大出力のメイン・ジェネレーターを搭載を確定しており、エネルギー供給能力を大幅に向上させたことによって、ビーム兵装の同時使用が不可であった《ハイザック》最大の問題点を克服、他機種の専用装備までもを含む幅広い兵装選択が可能となっている。装甲部材にはガンダリウム合金を採用し、各部の構造も《ハイザック》の量産によって得られたノウハウが活用されるなど、汎用性に優れ、かつ操縦難度も低いという非常に優秀な機体となった。ただし、時の流れは《マラサイ》に対して正当な評価を下さず、当初の納入予定

であったエウゴ陣営ではなく、AEの政治的な判断によって対するティターンズ側に引き渡され、ある意味使い潰されるような運用に供されてしまったのだ。かように《マラサイ》は不遇のモビルスーツといえたが、あくまでそれはU.C.0087年時点での話でしかなく、その後はグリプス戦役終結のきっかけを生み出した第三勢力、アクシズのネオ・ジオンによって本機の残存機体は運用されることとなり、パイロットの練度を問わず一定の性能を示すことが出来る傑作機として重宝されたという。開発から約10年の年月を経たU.C.0096年においても、地球のジオン公国残党軍が連邦軍事施設を強襲する際に本機を使用したとする記録が残されている。その機体色は往年の《ザク》を思わせるグリーンカラーに塗装され、本来連邦側の機体でありながらもジオン然としたシルエットを持っていた《マラサイ》に対し、これ以上ない完全なる調和を示していたという。



ビーム・ライフル
ハイザック用に開発されたものの同等品。メイン・ジェネレーターからのエネルギー供給量に余裕がある本機には、通常の運用であれば複数のエネルギーカートリッジを携行する必要がないため、専用の収納スペースは装備されていない。

頭部ユニット
後頭部と首などを保護する兜の殻(しころ)のような構造が特徴。複数存在するジオン残党軍仕様機の中には、他機種流用によってモノアイがピンク色に発光する機体も存在したという

海へビ
ハンブラビに設定されていた対モビルスーツ用電磁兵器。対象に巻き付いた後に本体から高圧電流を送り、パイロットを気絶、又は内部の電子機器をショートさせることによって戦闘不能に陥らせる。先端部にシーカーが備えられており、正確に攻撃対象を捉える。

フェダーイン・ライフル
ガブスレイの携行武装であったフェダーイン・ライフルは絶大な威力を誇り、一撃で戦艦の残骸を消滅させる。ライフルの後部にはビーム刃を形成するサーベルユニットを内蔵し、いわゆる銃剣的な運用が可能である。

コクピット
リアシートおよび360°全天周モニターを装備した標準的な球形コクピットを採用している。他の機体と同様、脱出ポッドとしても機能する。

バックパック
大容量のプロペラントタンクとバーニア、センサー類が一体化されており、性能はもとより整備性も高い。構造的に本体とは独立しており、バックパックの換装などにも配慮された構造となっている。



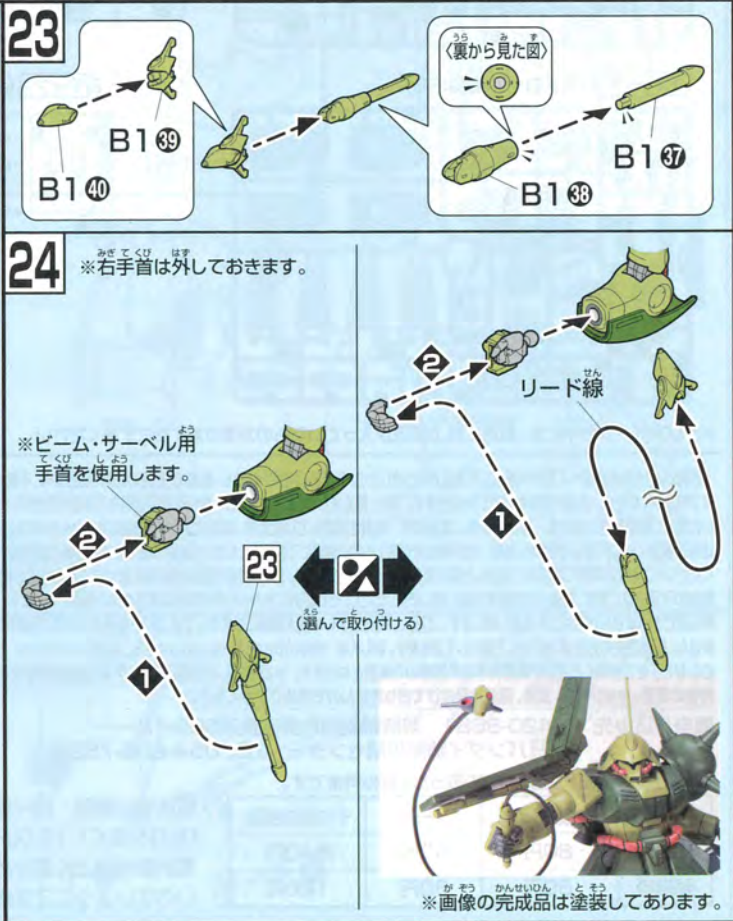
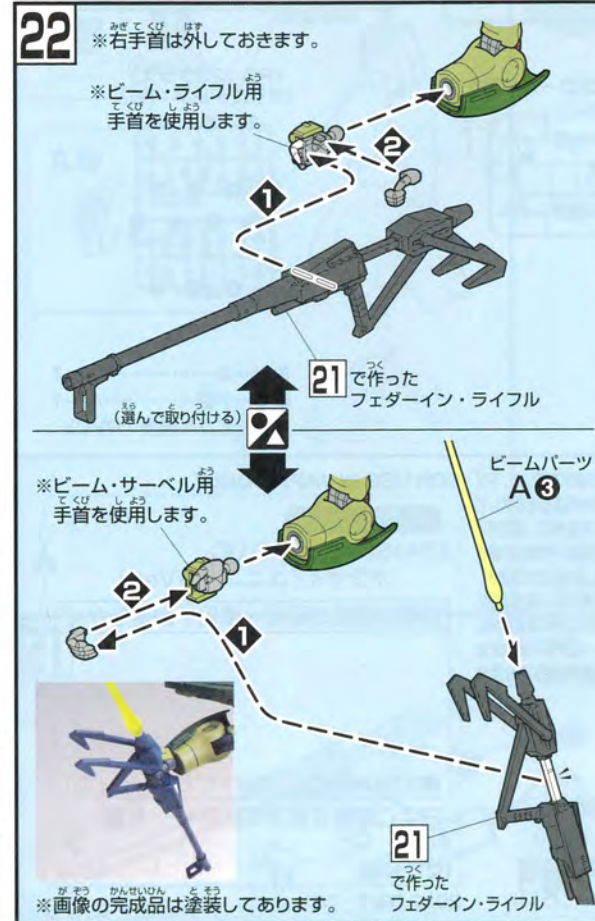
ビーム・サーベル
柄の部分の標準的なものより長尺な白兵戦用のサーベルユニット。グルグクのビーム・ナギナタ用ユニットの発展型であり、規格の合う機体なら使用できるが、ほぼマラサイ専用の装備となっている。

脚部ユニット
小型で高性能のバーニアユニットを内蔵しており、短時間ながら重力下においてもホバー走行が可能。月面などであれば恒常的に使用でき、高速戦闘を展開することができる。

SPEC
形式番号: RMS-108
全高: 17.5m
本体重量: 33.1t
ジェネレーター出力: 1790kw
装甲材質: ガンダリウム合金
武装:
フェダーイン・ライフル
海へビ
ビーム・ライフル
ビーム・サーベル
60mmバルカン砲
シールド



RMS-108「マラサイ(ユニコーンVer.)
宇宙世紀0096年。連邦軍事施設、トリントン基地の上空を支配する一機のモビルスーツ、《バイアラン・カスタム》。その姿は、同軍の拭きたい過去である「ティターンズ」の機体を基としていた。残党掃討任務を帯びた精鋭部隊とは名ばかりの、地球至上主義に染め上げられた危険思想を孕んだ集団。彼らが引き起こした連邦の内乱「グリプス戦役」は、彼らの敗北によって幕を引き、独特の意匠を持った所属機体は封印に近い処置がとられたという。だが、その内の幾分かは数奇な運命を辿り、再び宇宙世紀に現出していたのだ。まさに今大空を舞う《バイアラン・カスタム》と、その眼下から睨みあげてくる機体も。「なんと皮肉なものか……」《バイアラン・カスタム》のパイロットは、全天周モニターに表示された機体データを一見してその言葉を吐いた。かつて同じ所属の元に生み出された機体が、互いに所属を変え、敵同士として相対しているこの状況は、元ティターンズ所属の彼にとって、まさにそうとしか言いようがなかった。本来橙色だったボディカラーを緑色に塗り替えた皮肉の一端——《マラサイ》は、《バイアラン・カスタム》の左腕を電磁兵器で絡め取りつつ、携行火器からビーム刃を展開させる。あくまで今はジオンのモビルスーツとして、その出自の呪いを振り払うように迫り来る!!



HGUC ※この商品には、「HGUC マラサイ(ユニコーンVer.)」シリーズラインナップが1セット入っています。 **episode 4** で登場するMS達をHGUCで確認せよ!!

